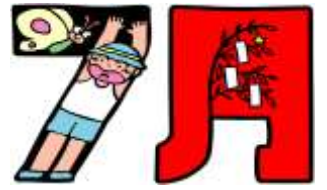


花岡公民館だより

令和4年



発行 花岡公民館 電話 43-7124 FAX 46-2201

花岡川堤防草刈り作業ご苦労様でした！



6月5日（日）、花岡川にかかる根井下橋（本郷上）から前田橋（桜並木終点）下流までの堤防の草刈りを行いました。

当日は、小雨交じりの天気で、足元が悪い中での作業となりましたが、各町内の方々45名が参加して、朝6時から8時まで雨と汗でびしょりになりながら、きれいに草を刈り払いました。参加された皆さま、本当にお疲れ様でした。

胃検診にいこう！

6月8日（水）に看護福祉大の学生4人がユニカールサークルを訪れ、胃検診の大切さについての健康講座を行いました。

おいしい食事も、元気にサークル活動を行うことができるのも健康であればこそだと思います。検診の大切さを再確認する時間となりました。

（講座の前には、学生たちとユニカールを楽しみました）



🌸 花いっぱい運動 🌸



6月23日、『花いっぱい運動』を行ないました。町内会、JA女性部、老人クラブ等から約30名が参加し、サルビア、マリーゴールド、ペゴニア等の苗をプランターに植え、公共施設などに設置しました。

この運動には、地域の環境美化に役立ててほしいとエコシステムグループ、エコリサイクル、花岡婦人会から、ご協賛をいただきました。

心より感謝申し上げます。

第33回花岡公民館招待学童野球大会

7月24日（日）午前8時より、花岡野球場において招待学童野球大会を開催いたします。この大会は、毎年小学5年生以下の新人チームで花岡山神社奉納大会として開催されています。招待チームはまだ確定していませんが、皆さまのご声援をお願いします。



館長雑感

「紫陽花の 昨日の誠 今日の嘘」 子規

梅雨入りし雨の日が多くなりました。どうして梅雨（つゆ）は梅の雨と書くのでしょうか。諸説ありますが、この時期に雨が降ると梅の実が大きく膨らみ梅にとっては恵みの雨、中国では梅雨（メイユー）、韓国では長霖（チャンマ）と呼ぶようです。また、カビ（黴）が生えやすい時期で黴雨（バイウ）と呼んでいましたが語感が悪いので梅雨に変えたという説もあるようです。

ところで、数字の「7」と聞くと、多くの人には「ラッキー7」ということで、良い印象を持たれるのではないかと思います。旧約聖書の「創世記」に、「神が天と地と万象とを6日間で創造し、7日目を安息日（休日）とした。」とあり、仏教においても、「初七日」や7日ごとの法要の最後の供養としての「四十九日」など「七」は特別な数字と捉えられているようです。七福神、七つの大罪、七宝、音の1オクターブ、白雪姫と7人の小人など7に関連したものは多くあります。

また、日本では虹の色は7色とされていますが、国や地域で異なっており、アメリカ、イギリスでは6色、ドイツ、フランスでは5色、ロシアでは4色とされ、「多くの」あるいは「多様な」という意味合いが含まれているようです。親の七光り、七つ道具、七変化、七不思議、七転八倒などの「七」は限定された7という数ではなく「多い」という例で使われているようです。

7月7日は七夕様、短冊に願いごとを書いて庭先の笹竹につるし、果物や野菜を供え、夜空を見上げながら牽牛と織姫の1年に1度しか逢えないという何ともロマンチックなラブストーリーを聴き、現実離れた遠距離恋愛ではあるが、話し手の巧みな話術に引き込まれメランコリックになったところが懐かしく思い起こされます。今年は短冊に「コロナウイルスの収束」、「ウクライナの戦争終結」と書きたいものです。

花岡公民館 館長 伊勢 善和



花矢図書館から



新着図書

一般書が「これだけは読んでおきたいすてきな絵本100」、「音読したい偉人たちの最期のことば」、「『食べる』介護のきほん」、「子どもと一緒に見つける草花さんぽ図鑑」、「暮らしがよくなる片づけ」、「はじめての」、「あの頃な」です。

児童書が「うんちってえいごでなんていうの?」、「おめめのめがみさま」、「スプーンとフライパン」、「でんせつのチョコレート」、「ちびまる子ちゃんの友だちづき合い」、「自分の強みの見つけかた」、「ママがブタになった日」です。

開館時間 火～金 9～19時 土・日 9～17時 休館日：月・祝日
花矢図書館：☎ 46-1557

